

# 令和 8 年度 持続可能な魅力ある田園地域創出事業

---

## Q&A

2026/04/14

Q

今回ビジョン作成支援コースで申請し、来年度以降に実証実験支援コースを改めて申請することは今後可能ですか？

この事業は単年度で実施するものとなり、来年度以降も必ず実施できるとお約束できるものではありませんが、来年度も実施する場合には、ご質問のように申請いただくことは可能です。

Q

実証実験はどんな事業内容でも応募可能ですか？

募集要領P5の募集内容に合致するものであればご応募いただくことは可能です。選定基準に基づき審査をさせていただき、より事業の趣旨に沿った内容でご応募いただいた方を、支援対象とさせていただきます。

Q

対象となる範囲（エリア）を教えてください。

本事業においては、田園地域に存在する地域資源を核として、その磨き上げにつながるビジョンづくり・実証実験を支援いたします。そのため、まちなか（商店街等）以外の幅広い地域を対象地域と考えています。申請範囲が商店街等を含む広範囲になったとしても、その事業内容が田園地域の地域資源を中心としたものであれば申請は可能です。

Q

個人でも応募は可能ですか？

ビジョン作成支援コースは、個人でのご応募も可能です。申請時点で想定している実施体制があれば、応募様式にご記入ください。実証実験支援コースは、チーム・団体でのご応募をお願いします（法人格は不要です）。

Q

実証実験においてロゴを作成する場合、伴走支援の内容は、ロゴの作成自体なのか、作成時のアドバイスなのか。

伴走支援においては、作成時のアドバイス、相談先のデザイナーや企業の紹介を想定しています。ロゴ作成にかかる経費は申請者において負担いただきます（県が委託する活動支援経費の活用が可能です）。

Q

実証実験における目標値の例を教えてください。

取り組む内容によって様々であるが、例としてカフェを開いてコミュニティづくりをするという活動の場合であれば、来客数や売上金額等が目標となると考えています。採択された場合は、応募書類に記載された目標値をもとに、伴走支援事務局と相談のうえ、実際の伴走支援期間における目標値を設定いただきます。

Q

応募書類についてページ制限はあるか？また、資料の添付は可能か？

ページ制限はありません。適宜、欄を広げて記載してください。資料を添付される場合は、申請書類に「添付資料参照」と記載願います。

Q

実証実験について、ほかの自治体等から交付金・補助金を受ける場合はどのように整理すればよいか。

すでに別の自治体等から補助等を受けている活動については、本事業の対象外となります。同じ団体が実施されている別の活動（補助等を受けていないもの）は申請可能です。

Q

実証実験について、ハード整備は対象外とのことだが、建物を建築・改修するための設計やデザインの相談は対象経費として認められるか。

設計・デザインにかかる費用は対象経費に含めることができます。実際の工事にかかる費用は対象外です。

Q

ビジョン作成において、住民の意見を集めるためのアンケートを実施するような活動は支援対象か？

支援対象です。ビジョンを作り上げるための重要な活動のため、ぜひ伴走支援において専門家の知見を活かしていただければと考えています。

Q

地域ぐるみで現代に合った教育を学び、つくり、支えていきたいと考えている。本事業の対象となるか。

活動内容に、田園地域の地域資源を活用した内容（その地域ならではの視点・活動内容）が含まれていれば、本事業の対象となります。実証実験に応募される場合は、地域資源を活用した持続的な収益をどうやって確保しようと考えているかについて応募書類に記載願います。

Q

同じ地域から複数の申請をする場合、メンバーが重複していても問題ないか？

異なる活動内容での申請であれば、メンバーが重複していても問題ありません。

Q

実証実験における活動費用の支援について、どのタイミングでもらえるのか？立替払いが必要なのか教えてほしい。

原則、伴走支援終了後のお支払いを予定しています。ただし、申請者の資金状況によっては、活動内容と実施時期等をふまえて事前にご相談いただき、一部を活動期間の途中でお支払いすることも検討可能です。

Q

実証実験支援コースの審査基準にある「必要なステークホルダーとの調整がされているか」について、これから調整する場合でも問題ないでしょうか？

すでに調整済の方だけではなく、これから調整される場合も調整しようとしているステークホルダーについて記載ください。調整中の場合は調整状況についてご記載ください。

Q

募集要領に「申請する事業について、同一年度内に国や他自治体からの委託や助成を受けていないこと」とありますが、地域おこし協力隊の方が実施体制に含まれる場合でも問題ないでしょうか？

申請する事業に対して、補助金や助成金を受けていなければ問題ありません。

Q

今回申請して支援対象に選定されなかった場合、選定された方々の活動内容などを見せていただくことは可能ですか？

伴走支援期間中、特設サイトにて支援対象の方々の活動内容報告を行ってまいります。また、事業スケジュールの最後に「事業報告会」を設けています。同じ思いをお持ちの皆さんに事業成果を共有し、取り組みを広げていただきたいということを意図しておりますので、是非こちらもご参加いただけますと幸いです。事業報告会の開催詳細については特設サイト等で追ってお知らせさせていただきます。

Q

実証実験の応募様式に目指す成果と目標値とありますが、2月までに見える・数値化できる目標設定が必要ですか？

目標設定については、実施される活動の最終的な目標をまず記載していただき、そこから逆算して今年度の2月末までにはどこまでの目標を達成したいと考えているか、というように記載していただければと思います。

Q

提出書類の作成に自信がないのですが、提出前に一度事業内容等を見ていただくなどアドバイスをもらうような機会を設けてもらうことは可能でしょうか？

事務局へその旨ご連絡いただけましたら、提出書類の作成方法等についてご説明いたします。